

# インドムンバイ新聞

ムンバイ日本人学校  
さいとうえいこ

## नमस्ते!



ナマステ(ヒンディ語)！  
こんな格好しちゃったよ  
(\*~\*)~！

でも使える、万能なあいさつなんです。顔の胸で手を合わせて言います。さあ、みんなで見よう！ 『ナマステ』！



学校のインドの事務の方と一緒に。  
『ナマステー！』

さいとうは、まだほ～んのちょび～っとしかインドの言葉が喋れません。英語もみんなと同じレベルだと思います。でも、そんなさいとうでも一生懸命話すと、ほとんど日本語の会話でも、ちゃんとインドの人にも気持ちや意味は伝わるんだよ。大事なものは気持ちなんだなってつくづく思います。鳥屋野小のみんなの中にも、人と話すのが苦手な人、きつっているよね。でも、一生懸命話すと、ちゃんと君の気持ちは友だちに伝わるよ。しかも、同じ日本人同士なんだしね(^o^)

鳥屋野小学校のみなさん！ क्या हाल है?(^ ^)v (ケ・セ・ヘ？=お元気ですか?)  
ムンバイ日本人学校のさいとうえいこです！

6年生は小学校最大の思い出行事＝修学旅行が終わりましたね。さぞ、楽しかったことでしょう！ 一生に一度の楽しい思い出はできましたか？ 5年生はもうすぐ自然教室！ 初めての学校の宿泊学習ですね。初めての家族と離れてのお泊まりで不安な人もいるかもしれないね。でも、大丈夫です！ 絶対に楽しいから！ 先生やお友だちと素敵な思い出をたくさん作って下さいね。

さて今回の『ムンバイ新聞』は、なんだか難しい文字から始まったぞ？ と思っている人も多いはず…インドの簡単な言葉&あいさつ情報をお送りします。



みんなが知ってるインドのあいさつってなんですか？  
やっぱり『ナマステ』ですよ。

『ナマステ』って、インド共通のあいさつなんです。インド共通ってどういうこと？ インドは、前にもお伝えしたように、広いインドっていくつの中にもいくつもの国があるって考えた方がいいほど、いろいろな民族の暮らしている国。だから、その中にはたくさんの言葉があって、全部で17もの言葉があるって言われています。だから、お札にもたくさんの言葉で金額が書いてあります。言葉が違うので、同じインドの人たちでも言葉が通じないこともあるんだって。

その中で、共通で通じるのが『ナマステ』。おはよう、こんにちは、さようなら、こんばんわ…つまり、いつ会っても使える、万能なあいさつなんです。顔の胸で手を合わせて言います。さあ、みんなで見よう！ 『ナマステ』！

そして、もう一つ、『ダンニャワード』。これはありがとうという意味です。ありがとうって、日本語でもとっても素敵な言葉ですよ。これも、インドでは胸で手を合わせて言うのですが、インドの方はとてもいい笑顔で、心からありがとうっていう気持ちが伝わるように言います。さあ、みんなも、友だちになにかしてもらったら、心を込めて言ってみよう！

『ダンニャワード』！

さいとうは、まだほ～んのちょび～っとしかインドの言葉が喋れません。英語もみんなと同じレベルだと思います。でも、そんなさいとうでも一生懸命話すと、ほとんど日本語の会話でも、ちゃんとインドの人にも気持ちや意味は伝わるんだよ。大事なものは気持ちなんだなってつくづく思います。鳥屋野小のみんなの中にも、人と話すのが苦手な人、きつっているよね。でも、一生懸命話すと、ちゃんと君の気持ちは友だちに伝わるよ。しかも、同じ日本人同士なんだしね(^o^)



いくつかの言葉で書かれている20ルピーのお札。20Rsは32円くらいです。



いろいろなインドのお金。硬貨もあります。

最後に 6-3 のとやのっ子からの質問にお答えします！

Q インドは、カレーが有名なので、インド人は毎日カレーを食べていると聞きます。なので、さいとう先生も毎日カレーを食べているんですか？ (だとしたら、あきないんですか?)

A さいとうは毎日カレーを食べません！ 日本から持って行った日本の食べ物を食べているよ。お昼は毎日お弁当です！ インドの方たちにとって、カレーやカレー味のものって当たり前の食べ物で、日本人にとってのお醤油みたいなものかなって感じています。インドの気候や風土に暮らす人たちにとって、カレーなどのスパイスって元気で過ごしていくために必要不可欠なのかもしれません。